

資料

岡山市御津工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

御津地区においては工業団地が多く造成されており、企業誘致に資するうえからも工業用水道の建設が要望された。

○事業の経緯

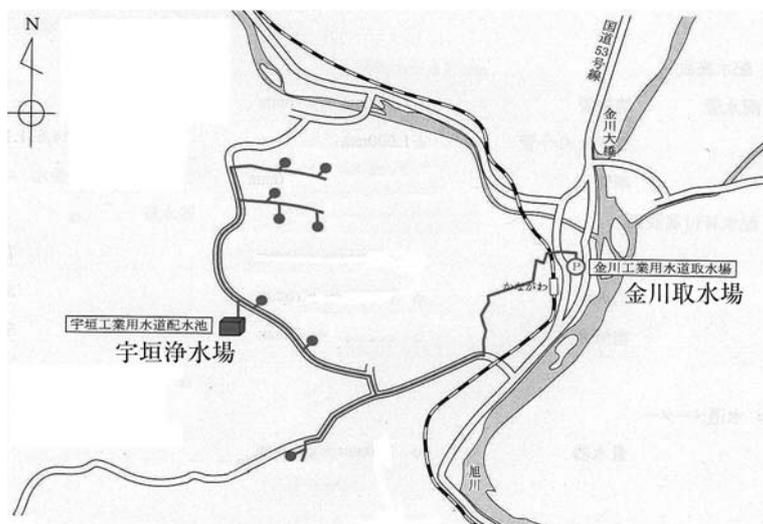
御津工業団地は、岡山県による吉備高原地域テクノポリス構想の中核工業団地として、さらに岡山空港に隣接する臨空型工業団地として、県営工業団地、サブ団地として町営工業団地が計画され造成された。

御津地区の工業用水の供給は、この県営工業団地と町営工業団地に対して工業用水として給水するものとして通産省の国庫補助事業採択を受け事業を完了した。現在、8事業所に給水している。

○施設の概要

御津工業用水道事業は、地下水を水源としており、旭川近傍の金川取水場で取水し曝気処理した後、宇垣配水池（有効容量588m³）から自然流下により御津工業団地に配水している。給水能力は3,000m³/日で、口径φ200～φ75、約5.0kmの配水管により工業団地内にある8社の企業者に給水を行っている。

○給水区域図



○ユーザーの概要

(平成18年12月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
印刷	2	280
プラスチック加工	1	150
ゴム加工	1	115
材料品印刷	1	100
銑鉄铸件製造	1	50
古紙回収再生	1	50
有機化学品リサイクル	1	50
合計	8	795

○事業の特徴

もともと、御津工業団地の開発団地への用水供給であり、工業用水施設の建設に合わせて上水施設も整備したことから、取水施設等の一部が共用施設となっている。需要が少なく経済的に厳しい中で運転や維持管理面にも効率的な運用に努めている。また、水源が地下水であることから、水量・水質ともに安定しておりこれまで渇水等の影響を受けたことはない。